



プロジェクト名称

工学部の学生が”家具職人”になれるか！？

プロジェクト活動概要

我々が普段の日常で最も触れ合う建築が「家具」であり、最も難易度が高い椅子である。安全性や納まりが特に重要視され、加工から仕上げに至るまで優れた技能と多くの知識を必要とする。さらに、我々は金物を使用しないことで、木材の美を追求する。結果、「工学部の学生、特に建築学生は、実際のものづくりができない」という常識を客観的評価によって覆すことを目標とする。

12月までに行ったこと

- ・ 芝浦祭に向けて新たに合計5脚の椅子を制作した。
- ・ 芝浦祭に参加し、主に学生や社会人の方にアンケートに答えて頂いた。

活動状況報告&活動写真など 活動期間：2013年10月1日～12月31日



芝浦祭に向け、オープンキャンパスでは展示しなかった新たな椅子を制作し、展示しました。芝浦祭には多くの社会人の方々も来られていたため、より幅広い層の方々から評価して頂くことが出来ました。また、それらの椅子をプロの大工の方々にも評価して頂ける機会がありました。大工の方々の意見は、学生や社会人の方々の意見に比べて厳しい評価が目立ち、多くの課題を見つけることが出来ました。

今後の活動計画、目標、意気込みなど

オープンキャンパス、芝浦祭を通して回収したアンケートを集計し、改善点のまとめ等の作業を行います。また、大工の方々に頂いたアドバイスも参考に今後の活動に活かしていきたいです。